

【資料1-1】

各分科会からの報告について

【グループ1】

(1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト①【市民力】 将来を見据え人を育み、活かすまちづくり

・分野別施策（計13項）

第4章 まちづくり（3項）、第5章 教育・文化・スポーツ（6項）、

第7章 行財政経営（4項）

(2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	柳井 雅也	東北学院大学 教授
	松橋 綾子	アイリスオーヤマ(株) 総務部長
	吉田 晃理	JAXA角田宇宙センター 角田管理課長
	毒島 弘美	角田市教育委員会 委員

(3) 分科会開催状況

・日 時

令和5年6月5日（月） 10:00～12:00

・出席委員

柳井委員長、松橋委員、毒島委員、吉田委員

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料1-3】対応ページ）	主な意見
①将来を見据え人を育み、活かすまちづくり【市民力】 (1P～3P)	・やはりNPO法人数が少ない。総務省のメニューで、地域おこしに関するプロデューサーやプロジェクトリーダー育成などもあるため、有効に活用し戦略的に進めていくべき。

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	主な意見
第 4 章 1 節 2 項 男女共同参画の推進 (2 9 P ~ 3 0 P)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会等の委員については、市民の代表という形で公募するのもよいのではないか。 ・ フレックス制の導入など女性も働きやすい職場環境の整備も必要。
第 5 章 1 節 1 項 学力・心・体の育成 (3 2 P ~ 3 3 P)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 偏差値教育ではなく地頭が良い子を育てていくことが重要である。まち全体をキッズニアにして、職場体験を実施するなど、エッジのきいた施策も必要なのではないか。
第 5 章 2 節 1 項 生涯学習の充実 (3 6 P ~ 3 7 P)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩手県にある図書館は隣の広場でマルシェをやったりして、貸出数の向上を図っている。移動図書館についても、学校だけでなく道の駅などで貸出をするのも効果的だと思う。
第 7 章 1 節 2 項 広聴活動の推進 (5 8 P)	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりカフェについて、例えばキッチンカーを出したり、バーベキューをやりながらワークショップを実施するなど、若い人たちが参加したいと思えるような仕掛けづくりも必要ではないか。

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	再評価とした理由
なし	

【グループ2】

(1) 評価施策

- ・重点プロジェクト
重点プロジェクト②【地域共生】ともに生き、活かし合うまちづくり
- ・分野別施策（計14項）
第1章 安心・安全（3項）、第2章 保健・医療・福祉（11項）

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	森 明人	東北福祉大学 准教授
	磯部 裕子	宮城学院女子大学 教授
	遠藤 恵美子	角田光の子保育園 園長
	安藤 由紀子	角田市医師会

(2) 分科会名簿

(3) 分科会開催状況

- ・日 時
令和5年6月6日（火） 10:00～12:00
- ・出席委員
森委員、磯部委員、遠藤委員（安藤委員欠席）

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料1-3】対応ページ）	主な意見
②ともに生き、活かし合うまちづくり 【地域共生】 (4P～6P)	・施策1 地域福祉計画については、進捗管理を行う組織でしっかりと評価・進捗管理を行いながら計画を推進してほしい。

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】対応ページ）	主な意見
第 2 章 1 節 3 項 地域医療体制の充実 (6 P)	・産科医・小児科医の招聘は相当厳しいのではないかと感じている。その可能性を探っていくよりも、例えばリモート診療など先駆的な事例を検討するなど、別なルートに舵を切ることにも必要なのではないか。
第 2 章 3 節 1 項 地域福祉活動の支援 (1 0 P)	・地域活動と言った場合にその地区ごとの視点を出していくと、より地域の課題と地域作りの視点がはっきり見えてくるため、そういった視点を主な施策のところに加えながら、それぞれの地区でどんな地域作りが進んでいったのか、評価ができると非常に良い。

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】対応ページ）	再評価とした理由
第 2 章 3 節 3 項 高齢者福祉サービスの充実 (1 3 P)	・施策の成果にシルバー人材センターについての記載がなく、市の取り組みについて記載がないため、この状態では「概ね順調」とは評価しがたい。

【グループ3】

(1) 評価施策

・重点プロジェクト

重点プロジェクト③【地域資源フル活用】地域資源を活かすまちづくり

・分野別施策（計19項）

第3章 産業振興・就労（9項）、第6章 都市基盤・生活環境（10項）

(2) 分科会名簿

役 職	氏 名	所 属 等
分科会長	佐藤 和行	七十七銀行 角田支店 支店長
	加藤 泰彦	角田市商工会 会長
	中嶋 厚次	日立 Astemo(株) 人財統括本部 HR シェアードサービス部 宮城総務安全衛生課長 マネージャー
	菊地 恵美子	みやぎ仙南農業協同組合 理事
	貝塚 憲一	大河原地方振興事務所 地方振興部長
	戸田 宏士	司法書士

(3) 分科会開催状況

・日 時

令和5年6月5日（月） 10:00～12:00

・出席委員

佐藤委員、中嶋委員、菊地委員、貝塚委員、戸田委員（加藤副委員長欠席）

(4) 分科会で出た主な意見

・重点プロジェクト

重点プロジェクト （【資料1-3】対応ページ）	主な意見
③地域資源を活かすまちづくり【地域資源フル活用】 （7P～11P）	特になし。

・分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	主な意見
第 3 章 1 節 2 項 地域農業の推進 (1 9 P)	・新規就農者については、角田市内だけでなく市外から呼び込むというのもありだと思うので、農園付きの住宅などに補助などがあればいいのかなと思う。
第 3 章 2 節 3 項 安定した雇用の確保 (2 5 P)	・今後の取り組みに「サポート体制の充実」とあるが、具体的に何を支援するのか明記しないと対応方針にならないのでは。成果や課題、取り組みに具体性が欠けている。
第 3 章 3 節 1 項 地域観光資源の ネットワーク化 (2 6 P)	・道の駅かくだ以外にも歴史資源や地域資源が多くあるので、仙台から人を呼ぶのか、地域内の人を循環させるのか、ターゲットを絞って活動するほうが集客に期待できる。 ・もっと道の駅の周りを活用して、人を呼び込む目玉となるものを作るべき。
第 3 章 3 節 2 項 道の駅かくだの活用 (2 7 P)	・体育館や陸上競技場でのイベントに応じて、中高生が食べる弁当の販売などをしてはどうか。

(5) 全体会での再評価とした分野別施策

分野別施策 （【資料 1-2】 対応ページ）	再評価とした理由
第 3 章 3 節 2 項 道の駅かくだの活用 (2 7 P)	・売上高については順調に推移しており、道の駅の頑張りが見える。しかしながら、初期値はコロナ禍の影響を受けた数値であることから、通常ベースで想定している売上高と比較するとどうなのか。今後も気を引き締め、道の駅の運営にご尽力いただきたいという期待も込めて、「概ね順調」ではなく「やや遅れている」という評価も考えられる。
第 6 章 2 節 1 項 快適な居住環境づくり (4 6 P)	・令和 4 年度に市営住宅 30 戸の改修工事を計画していたものの、成果として実施設計の作成に留まっているため、「概ね順調」とは評価しがたい。